

# 乙女高原ファンクラブ 2023年度

活動報告(ダイジェスト版) 2023.3.~2024.2.

## ■こんな1年間でした

1. コロナが5類に移行し、ほぼコロナ前同様に活動を展開することができた。草刈りボランティアでは豚汁や送迎車を復活させることができた。
2. 1年間で37名の入会者があり、現在、総入会者数は845名。
3. 活動への参加者数はのべ804人だった。 ※総会資料表紙グラフ参照
4. 毎月第一土曜日に乙女高原へ行く自然観察交流会を実施8年目。
5. 環境省/日本自然保護協会:モニタリング 1000里地里山調査ヤマアカガエル産卵調査は10年目。合計18腹 15年:42腹, 16:29, 17:25, 18:35, 19:22, 20:22, 21:20, 22:25)。
6. 山梨市駅前の街の駅にて、乙女高原の常設展示7年目。シーズン S36:スマイレ, S37:マルハナバチ, S38:チョウ, S39:草刈りボラ, S40:植物ライフステージ, S41雪。
7. 第24回遊歩道作りは雨のため5/21に延期して行った。参加者30人。
8. 高槻氏主導訪花昆虫調査を6~10月にかけて毎月実施(7月は2回実施)。2018, 20~23。
9. 6・8・9月と、年3回のマルハナバチ調査を実施。21年目。
10. 7/1に谷地坊主の観察会を実施。8年目。
11. 7/22、夏休みの前に有志で遊歩道の草刈りを実施。
12. 笛吹市教育協議会、山梨県総合教育センター等の研修を受け入れた。
13. 夏休みのボランティアガイド復活8年目。土日を中心に計6日間実施。
14. セルフガイドブック『乙女高原の自然』(A5判オールカラー32ページ)を刊行。
15. 9月、高槻先生主導の植生調査を行った。9期目。
16. 笛川小5年生と日下部小4年生の自然観察学習を9月に実施。
17. 第22回草刈りボランティアを11/23に実施。参加者200人。
18. 第21回乙女高原フォーラムは1/21に「乙女高原の植物たちはどこからきたのか」をテーマに、岩科 司さんをゲストに行った。参加者70人。
19. 次の団体から助成金を拝受した。  
山梨市/乙女高原保護活動事業補助金(7万円), 富士フィルムビジネスイノベーション(10万円), イオン石和/ザ・ビッグイオン石和店(計14,900円), 田丸グリーン基金(10万円)。
20. 計7回の乙女高原連絡会議・世話人会を開催。連絡会議は山梨県・山梨市の担当者を交えて開催した。
21. 会報「乙女高原が好き!」を年4回発行。鈴木さん・井上さんが編集, 芳賀さん・三枝さんが印刷, 加藤さん・鈴木さん・井上さん・岡崎さんが発送を担当。
22. メールマガジンを506号以降, 年31回配信した。ホームページを更新。
23. 2009年に始めたデータロガーによる気温の計測を継続。
24. 今年度の乙女高原フェロー該当者は5名だった(総計28人)。
25. 遊歩道づくり, 草刈りボランティア, 乙女高原フォーラムは県・市との共催事業として実施。今後とも行政との協働で乙女高原の自然を守り育てていきたい。

## ■ 1年間のおもな活動の足跡 乙女高原ファンクラブ 2023

### ■ 3/12 2022年度定期総会



山梨市役所牧丘支所 2階集会室にて。参加者 17人(他に委任状による参加 131人)。山梨市長・高木様より祝辞をいただいた。新たな世話人として 9人が立候補。全員が承認された。

### ■ 4/1 交流会・カエル産卵調査



環境省と日本自然保護協会による「モニタリング 1000里地調査・アカガエル産卵調査」への参画。3/27, 4/1, 4/9, 4/17, 4/23の5日間調査。のべ 11人。合計 18の卵塊をカウントした。

### ■ 5/14 第24回遊歩道作り



雨のため 5/21に延期。延期にも関わらず計 30人が参加。山梨市・山梨県・乙女高原ファンクラブが協働で企画運営。5/10の準備には 3者で 12人参加。9:30-12:30

### ■ 6/3 黄色いスマレウオッチ



前日から台風が日本南岸を通り林道ゲートが閉鎖。それでも集まった 3人で琴川ダムから焼山峠の林道を歩いて自然観察を楽しんだ。8:30-15:00

### ■ 6/21 訪花昆虫調査



麻布大学高槻研究室/加古さんが 2013年に行った調査を 2020年から高槻先生中心に再開。遊歩道を歩き全訪花昆虫を記録。6-10月毎月。のべ 38人。

### ■ 6/25 マルハナバチ調べ隊①



15人。紙芝居によるマルハナバチの生態の説明は常連のお子さんがやってくれた。ラインセンサス 4頭。午後は待ち伏せ調査も実施。

### ■ 7/1 谷地坊主の観察会



朝から雨だったが、2人で調査を行った。マーキングしている谷地坊主の高さや幅などを計測した。

### ■ 7/22 遊歩道の草刈り



9人。夏休みに備え、遊歩道内に生えてきた草を刈り、歩きやすくした。草刈りの他、外来植物の抜き取りも行った。

### ■ 7/22-案内人夏の案内活動



夏休み中の土日、乙女高原案内人有志が交代で、乙女高原の案内活動を実施。6日間実施。案内人のべ 23人参加。外来種の抜き取り等も行った。



■7/26 笛吹市の先生方を案内



様々な団体から案内依頼。標題(10人)の他、7/28 山梨県総合教育センターの自然観察研修の受講者 30人。8/11 長野県安曇野市の森倶楽部 21の10人など。

■8/3 乙女高原テレビロケ



山梨 CATV「教えてうえちゃん いつでもどこでも自然観察」番組の一つとして乙女高原スペシャルを作成。YouTubeにて配信中。



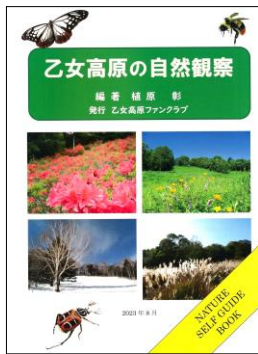
■8/5 マルハナバチ調べ隊②



参加者 13人。1時間ラインセンサス 119頭。内訳はトラ 3、オオ 13、ミヤマ 13。マルハナバチが多く、なかなか進めなかった。午後は待ち伏せ調査。

■8/18 『乙女高原の自然観察』

この本を片手に乙女高原の自然観察が楽しめるように編集。A5判 30ページ フルカラー 頒価 300円



■9/2 マルハナバチ調べ隊③



参加者 25人。ラインセンサスで 100頭。内訳はオオ 57、ミヤマ 26、トラ 17と、夏とはマルハナバチの内訳比率が変わっていた。午後からは待ち伏せ調査。

■9/5 笛川小 5年観察学習支援



9/5には笛川小 5年生 20人と、9/12には日下部小 4年生 56人と乙女高原の自然観察。笛川小 6年生のボランティア体験も企画したが雨天中止。

■9/23 植生調査



2015年に設置した総延長 1kmのシカ柵が乙女高原の植生にどんな変化を及ぼすか調べるため、高槻先生の指導のもと 2015年から毎年 1回 9月に実施。10ポイントで調査。8人参加。

■11/23 草刈りボランティア



送迎車、藁撒き、キッズボランティア、豚汁など、3年ぶりにコロナ前と同様に運営。草刈り・草敷きともに不十分だった。200人参加。

■1/21 第 21 回乙女高原フォーラム



ゲスト:岩科司さん(日本高山植物保護協会会長)、テーマ:乙女高原の植物たちはどこからきたのか—その起源と温暖化の影響—。夢わーく山梨。70人。写真は終了後の茶話会。

## ■乙女高原ファンクラブの歴史

- 1998.8 乙女高原自然教育研究会執筆・写真・編集による『乙女高原フィールドガイド』発行。  
1999.9 「乙女高原の森」連絡会議発足。 2000.3 乙女高原スキー場用地使用協議の廃止。  
2000.11 第1回「乙女高原の草原を守る！」草刈りボランティア開催。
- 2001.4 乙女高原ファンクラブ発足** 発足記念映画会 吉永小百合主演『明日は咲こう花咲こう』
- 2001.5 草原内の遊歩道を全面的に改定。土壌流失のひどい遊歩道は閉鎖。新遊歩道開設。  
2002.3 **新事業**・第1回乙女高原フォーラム開催（ゲストは西丸震哉さん）西丸流自然とのつきあい方  
2002.11 やまなし山の日イベント大賞受賞（受賞対象は乙女高原自然講座）  
2003.4 **新事業**・乙女高原案内人養成講座スタート（03,04,05,08の4期）  
2003.6 イタドリの刈り取り実験用コドラート設置  
2003.6 **新事業**・マルハナバチ調べ隊スタート。（毎年3回）  
2003.11 第4回乙女高原の草原を守る！で、キッズボランティア開始  
2004.1 やまなし環境財団より若宮賞受賞  
2004.4 (株)田丸グリーン基金より協力参加費をいただく。（以後、毎年）  
2004.6 **新事業**・イタドリ刈りスタート。（2007年まで4年間）  
2004.7 乙女高原案内人による夏の自主インタープリテーション活動開始（以後、毎年）  
2004.12 真っ赤になったグリーンロッジの屋根について町と町教育委員会に意見書提出  
2005.4 「みどりの日」自然環境功労者環境大臣表彰受賞  
2006.1 **新事業**・山梨市民会館ロビーにて乙女高原展開催（以後、毎年）  
2006.5 月に一度の乙女高原案内人勉強会スタート  
2006.12 山梨鈴木助成事業財団の助成により『乙女高原案内人 誕生と成長の記録』刊行。  
2007.6 全労済の助成金を活用し乙女高原フィールドガイドⅡ『マルハナバチ』を作成。  
2008.6 **新事業**・アサギマダラ調べ隊スタート（マーキングされたチョウが兵庫・高知で再捕獲）  
2009.4 (株)田丸グリーン基金を活用し、乙女高原フィールドガイドⅠ『お花たち』を改訂増刷  
2009.7 (社)関東建設弘済会「関東・水と緑のネットワーク拠点百選」に当選  
2009.11 **新事業**・乙女高原に自動温度記録計設置（気温・地温）。計測スタート  
2010.5 **新事業**・草原2箇所、湿地1箇所、計3箇所にシカ柵設置。以後、モニタリングを行う。  
2010.11 乙女高原が山と溪谷社・日本山岳遺産基金による「日本山岳遺産」に認定される。  
2011.5-6 3回のスマレ観察会を実施。  
2011.6 麻布大学高槻研究室のシカ柵内外の植物調査に協力。  
2011.11 東京農工大星野研究室・(株)田丸の協力で藁撒きプロジェクト(刈り草を残土処分場へ)を実施。  
2012.1 乙女高原フィールドガイドⅢ『スマレ』を発行。  
2012.8 自主的に百葉箱を設置、ベンチ・テーブルの修理と新設、案内板を修理。  
2013.6 **新事業**・草刈りの時期を変えて草刈りの効果を確める刈り取り実験。  
2013.11 11年分のメールマガジンを編集した『乙女高原大百科』を刊行。  
2014.3 環境省/日本自然保護協会のモニタリング1000里地調査に参加。ヤマアカガエル産卵調査を開始。  
2014.11※山梨ロータリークラブより乙女高原自然観察案内看板が寄贈される。  
2015.8 **新事業**・谷地坊主の観察会  
2015.11※乙女高原を取り囲むシカ柵完成（市の事業による）  
2016.4 **新事業**・街の駅やまなしにて、乙女高原(ファンクラブ)の常設展開始  
2016.11 **新事業**・草刈りボランティアに山梨市駅からの送迎バス運行  
2017.4 **新事業**・乙女高原フェロー制度をスタート。2018年1月のフォーラムにて5人をフェロー認定  
2018.2※「乙女高原の谷地坊主」が山梨市の天然記念物に指定される  
2019.1 おもてなしのやまなし知事表彰を受ける  
2019.11 第20回草刈りを記念し13団体に感謝状と記念品贈呈。記念ステッカーを作成し、参加者に配布  
2019.11※山梨ロータリークラブより谷地坊主看板が寄贈される。  
2020-2021.新型コロナウイルス感染防止のため、活動に様々な制限
- 2021.4 乙女高原ファンクラブ20周年** 2021.3 街の駅やまなしと山梨市民会館にて記念展
- 2021.10 恩賜林110周年記念式典にて感謝状を授与  
2022.5~10 高槻先生主導の月例「訪花昆虫調査」実施（2023も）  
2022.10※乙女高原が全国草原の里市町村連絡協議会の「未来に残したい草原の里100選」に選ばれた  
2023.8 セルフガイド『乙女高原の自然観察』刊行

### 乙女高原ファンクラブへの連絡先

【事務局】植原 彰(方) 〒404-0013 山梨県山梨市牧丘町窪平 1110-3  
TEL FAX 0553-35-3682 電子メール otomefc@fruits.jp  
ウェブページ <http://fruits.jp/~otomefc/>

- 郵便振込● (番号)00220-8-71093 (加入者名)乙女高原ファンクラブ
- ゆうちょ銀行●029店 当座預金 0071093 乙女高原ファンクラブ